

## 自治医大：遺伝子組み換えマウス処分漏れ 文科省嚴重注意

毎日新聞記事 2009 年 12 月 25 日 13 時 27 分

文部科学省は 25 日、遺伝子組み換えマウスの不適切な取り扱いをしたとして、自治医科大に文書で嚴重注意した。

文科省によると、同大実験医学センター（栃木県下野市）で今年 6 月 11 日、数日前に安楽死させたはずの遺伝子組み換えマウス 1 匹が屋内の実験用廃棄物容器内で生きているのが見つかった。マウスは捕獲され、ほかに逃げたマウスはなく、人間などに影響を与える恐れもなかった。

しかし、廃棄物容器は遺伝子組み換え生物を取り扱う専用の飼育室外の廊下に入り、死んだことの確認が不十分なまま、その容器にマウスを廃棄していた。文科省は、遺伝子組み換え生物の取り扱いを定めた法律上不適切で、国への届け出も 11 月 19 日と遅く、嚴重注意し再発防止を求めた。【奥野敦史】